

摺上川ダムの洪水調節効果

～河川の氾濫による被害から下流域の人々を守ります～

洪水の概要

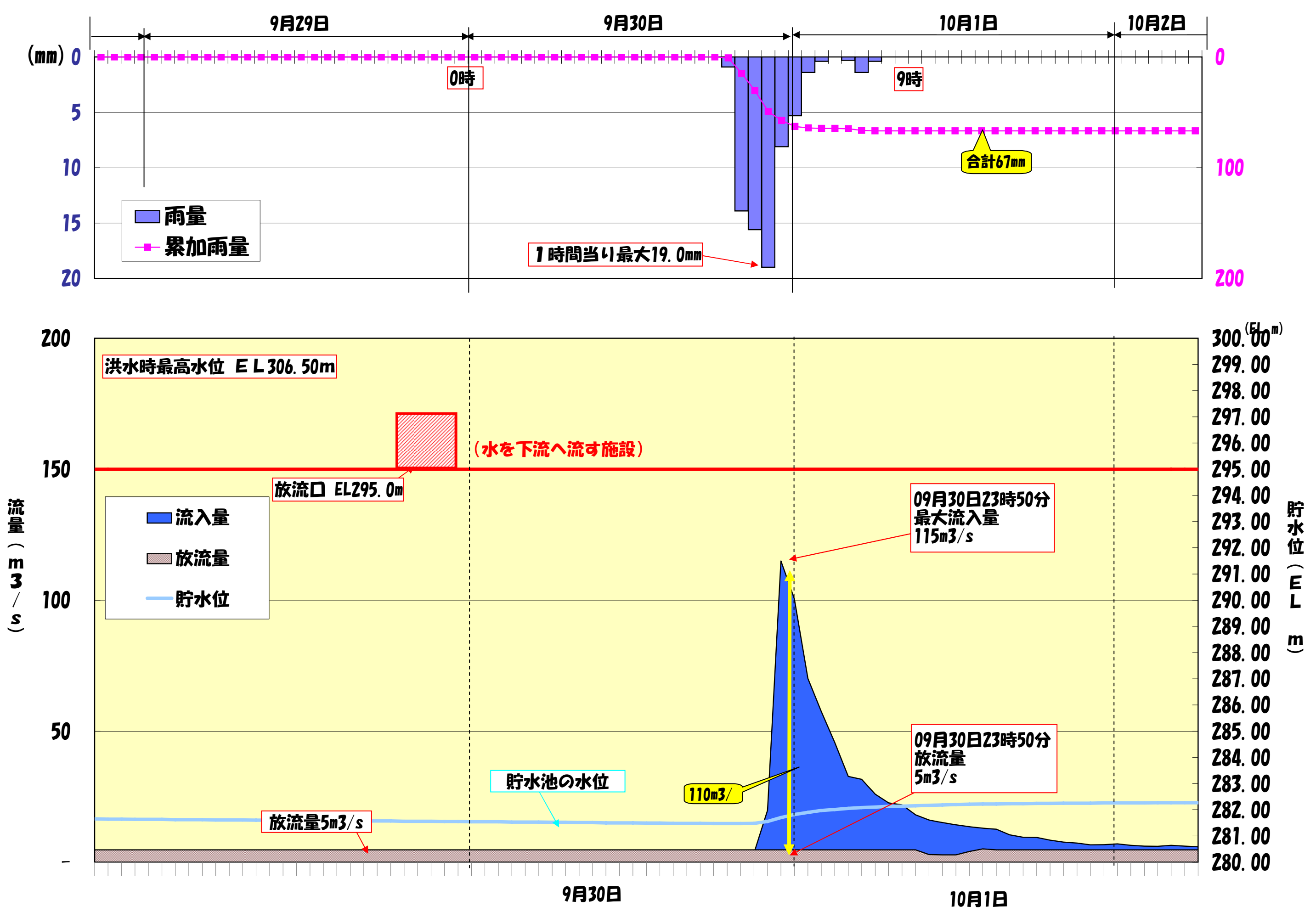
台風17号の通過に伴う降雨により、摺上川ダム流域では平成24年9月30日21:00より雨が降り出し、10月1日7:00までの累加雨量は67mmに達しました。この降雨により摺上川ダムへ流れ込んだ水の量は9月30日23:50にピークに達し、洪水量（毎秒100m³）を超える毎秒115m³を記録しました。

摺上川ダムの効果

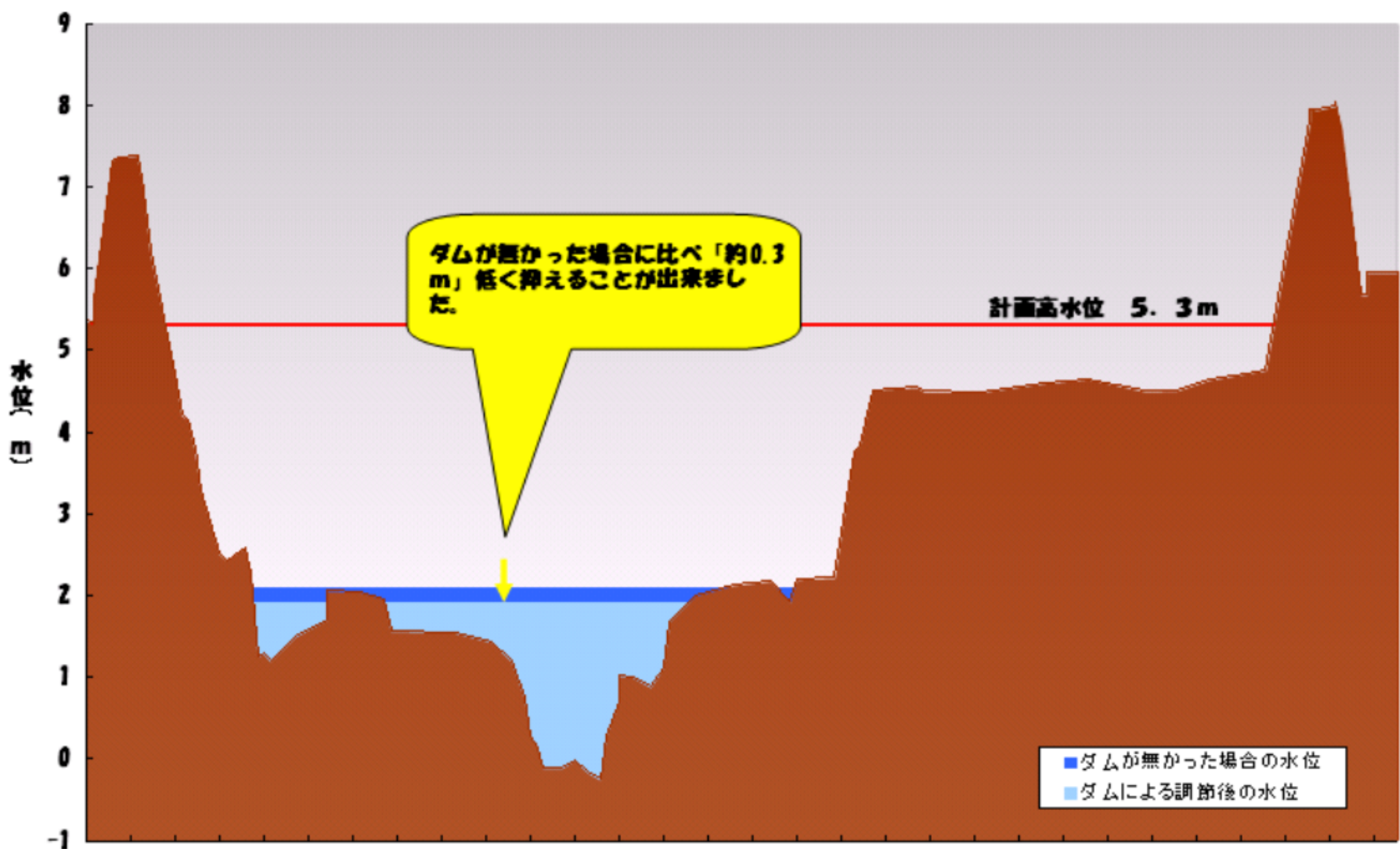
今回の洪水でダムへ流れ込んだ水の量は最大毎秒115m³に達しましたが、下流河川に流した水の量は毎秒5m³に抑えられ、「毎秒110m³」の洪水をダムに貯水することが出来ました。この結果、摺上川ダム下流部の瀬ノ上地点での河川水位は、ダムが無かった場合に比べ約0.3m低く抑えることが出来ました。

洪水調節のグラフ

～H24. 9. 30 洪水調節図～



瀬ノ上地点でのダム効果



旧4号幸橋(瀬ノ上) ダムによる洪水調節効果